

大館市教育委員会会議録

日 時 令和4年11月24日(木)
午後3時30分
場 所 大館市立長木公民館
第1、2研修室

大館市教育委員会

大館市教育委員会会議録

1	開会の日時 及び場所	日 時 場 所	令和4年11月24日(木) 大館市立長木公民館	午後3時30分 第1, 2研修室
2 出席委員の氏名				
	教育長職務代理人	山田 和人	委員	工藤 啓子
	委員	根田 穂美子		
3 欠席委員の氏名				
	委員	小笠原 正卓		
4 委員以外の出席者職氏名 (なし)				
5 出席した職員の職氏名				
	教 育 長	高橋 善之	学校教育課長補佐	工藤 貴胤
	教 育 次 長	成田 浩司	学校教育課長補佐	北林 香子
	教 育 監	長岐 公二	教育研究所副主幹	山本 多鶴子
	教育総務課長	小松原 功秀	生涯学習課長補佐	鈴木 明
	学校教育課長	畠沢 依子	中央公民館長	武田 吉輝
	教育研究所長	米澤 貴子	歴史文化課長補佐	加賀 至
	歴史文化課長	小松 工	教育総務課総務係長	篠村 朋子
	教育総務課長補佐	宮崎 史人		
	教育総務課長補佐	石田 誠樹		
6 会議録署名委員 教育長・小笠原委員				
7 会議書記 教育総務課 総務係長 篠村 朋子				
8 教育長報告				
(1)	第32回大館市生涯学習フェスティバルについて			
9 議 事				
協議第28号	大館市北地区コミュニティセンターの指定管理者の指定について			
協議第29号	大館市立図書館及び大館市松下村塾の指定管理者の指定について			
協議第30号	令和4年度大館市一般会計補正予算(第9号)案			
協議第31号	令和4年度12月補正(追加)歳出予算要求の概要について			
10 その他 口頭報告				
<ul style="list-style-type: none"> ・第2回「大館ふるさとキャリア教育」作品コンクールの実施について(学校教育課) ・令和4年度ICTを活用した授業改善支援事業「ICT授業研究協議会(授業公開)」について(学校教育課) ・伝統文化親子教室事業について(生涯学習課) 				

教育長が教育委員会に報告する事項

担当課（生涯学習課）

報 告 事 項	報 告 内 容
<p>第32回大館市生涯学習フェスティバルについて</p>	<p><主催・協賛事業実施期間> 9月24日、25日をメインに、9月、10月の2カ月間(生涯学習強調月間)</p> <p><会 場> 中央公民館、栗盛記念図書館、市民交流センター、ほくしか鹿鳴ホール、秋田職業能力開発短期大学校、秋田看護福祉大学、秋田県北部男女共同参画センター、北地区コミュニティセンター、小畑勇二郎記念館、プルミエ比内、ニプロハチ公ドーム、県立大館鳳鳴高等学校定時制課程「桜楯館」、いとく大館ショッピングセンター (13会場)</p> <p><期間中の参加・来場者数> 8,250人(前年度5,081人)</p> <p><新企画(中央公民館会場)> ・プログラミング無料体験教室</p> <p><主な行事・来場者数> 9月3日 文化講演会「映画館 御成座はいかにして再生することができたか」(栗盛記念図書館) 来場者：32人 9月4日 第31回いとく・S&B杯ちびっ子健康マラソン大会(ニプロハチ公ドーム) 来場者：960人 9月4日 MIKA NAKASHIMA CONCERT TOUR 2022『I』(ほくしか鹿鳴ホール) 来場者：814人</p>

	<p>9月16～17日 第1回市民交流センターまつり (市民交流センター) 来場者：489人</p> <p>9月17日 布谷史人&ベンヤミン・ヌス マリンバ&ピアノデュオリサイタル(ほくしか鹿鳴ホール) 来場者：161人</p> <p>9月18日 福田こうへいコンサートツアー2022(ほくしか鹿鳴ホール) 来場者：1,169人</p> <p>9月23～25日 第50回秋田県特別支援学校県北地区 学校展(いとく大館ショッピングセンター) 来場者数：340人</p> <p>9月24～25日 第25回北コミセンターまつり(北地 区コミュニティセンター) 来場者：1,288人</p> <p>10月3、5、7日 大校公開市民講座2022(秋田職業 能力開発短期大校) 来場者：34人</p> <p>10月15～16日 第18回大学祭「Harmony～地域と大 学の調和～」(秋田看護福祉大学) 来場者：309人</p> <p>10月22日 桜楯館フェスタ「Link～絆～」(大館鳳鳴高 等学校定時制課程「桜楯館」) 来場者数：178人</p> <p>10月30日 大館やわらかクラシックコンサート(ほく しか鹿鳴ホール) 来場者数：140人</p>
--	---

議 事 の 経 過	
	開会 午後3時30分
教育長	<p>ただ今より教育委員会会議を始めます。 会議録署名委員については、私と小笠原委員にお願いします。</p> <p>会議録についていかがだったでしょうか。</p> <p>(「異議なし」の声あり)</p> <p>それでは、承認とさせていただきます。 では、4の教育長の報告事項をお願いします。</p>
生涯学習課長 補佐	(「(1)第32回大館市生涯学習フェスティバルについて」を、資料により報告)
教育長	ご意見、ご質問はございませんか。
委員	<p>2日間足を運ばせていただきましたが、大変有意義なフェスティバルであったと思います。親子で自分の作品を見ている姿や、いろんな体験をしている姿を拝見して、皆さんがそれぞれの立場で楽しめるフェスティバルであったと思います。コロナ禍の中、スタッフの皆さんは、大変であったと思います。本当にお疲れさまでした。市民の皆様には、これが学習を始めるきっかけになると信じしております。ありがとうございました。</p>
教育長	<p>スポーツだけでなく、文化的な活動も平常通りに近づいてきて良かったと思います。</p> <p>では、報告を終わりました、議事に入ります。議事の(1)と(2)をお願いします。</p>
各課長	(「協議第28号大館市北地区コミュニティセンターの指定管理者の指定について」「協議第29号大館市立図書館及び大館市松下村塾の指定管理者の指定について」を資料により説明)
教育長	<p>ご意見、ご質問はございませんか。</p> <p>ないようですので、承認とさせていただきます。</p> <p>次に、議事の(3)と(4)をお願いします。</p>
各課長	(「協議第30号令和4年度大館市一般会計補正予算(第9号)案」「協議第31号令和4年度12月補正(追加)歳出予算要求の概要について」を資料により説明)

教育長	「協議第30号令和4年度大館市一般会計補正予算（第9号）案」についてご意見、ご質問はございませんか。
委員	給食費の水道使用量の増加とありますが、これは、なぜ、増えているのですか。
学校教育課長	調理機材の故障により水道使用量が増加したとみております。
教育長	ほかにございませんか。なければ承認とさせていただきます。 次に「協議第31号令和4年度12月補正（追加）歳出予算要求の概要について」ご意見、ご質問はございませんか。
委員	放課後児童クラブ物価高騰対策事業として84,000円の補正ですが、この金額で間に合いますか。
生涯学習課長 補佐	間に合います。
教育長	ほかにございませんか。なければ承認とさせていただきます。 次にその他に入ります。
教育監	（「第2回大館ふるさとキャリア教育作品コンクールの実施について」を口頭報告）
教育長	ご意見、ご質問はございませんか。 昨年初めて実施したわけですが、教育委員会で把握していない、いろんな活動が実践されていて、大変いいと思っていました。しかも、商工会議所さんの協賛で実施できるというのも、大館らしいと思っています。
教育研究所長	（「令和4年度ICTを活用した授業改善支援事業ICT授業研究協議会（授業公開）について」を口頭報告）
教育長	ご意見、ご質問はございませんか。
委員	先日の総合教育会議でも話しましたが、自然な形でICTの活用が進められていると感じています。3年間の取り組みのうち2年間が過ぎたということですが、2年間を終えての成果や課題などありましたらお教えてください。
教育研究所長	城南小学校を中心に、ICTを文房具の一つとして自然に使っているというのが、見られている状況です。夏季研修会でもロイロノートという授業支援ソフトの使い方を先生方に体験していただいたり、1月に実施する実践発

	<p>表会でも、城南小学校以外の学校からもたくさんの成果と課題が出てくるのではないかと考えています。子どもたちのほうが、より文房具のように使っているという状況です。</p>
委員	<p>25校すべてにタブレットが渡っているので、全然使っていないという学校がなければいいと思っています。活用されるよう願っています。</p>
教育長	<p>各学校の授業を見ていますが、ほとんどの学校は使っていますね。上手い下手はあるかもしれませんが、子どもたちには、馴染んではいますね。あくまでも、大館型授業の中で効果的なツールとして使うというベクトルは、どこの学校も一緒ですし、大館最適化といいますか、非常に馴染んできた感じがします。授業を見ていて、ICT臭さを感じないというか、順調に上手く目的に照らして非常によく行っているのではないかと感想を私は持っています。</p>
委員	<p>私も、参加させていただきました。1年生の授業を見させていただいたのですが、ICTの活用がスムーズに行われていると思いました。早くわかった人、遅くわかった人など把握できるため大変良いと思いました。電子黒板がたくさん教室に配置できたらいいと思いました。</p>
教育長	<p>大阪の交野市が視察にきて、ICTに関してこのような感想を述べて行ったのがあります。</p> <p>交野市でICTを使っの授業を進めている先生の話です。板書が構造的でないといいますか、板書が板書でなくなっている。子どもたちのノートが使う機会がなくて、書く力が減ってきている。まとめる力が落ちている。ということに気づかされたとのこと。</p> <p>板書もノートもいらぬという教育学者もいますが、基本的な力というのは小学校では身に着けさせるべき力だと思っています。</p>
生涯学習課長 補佐	<p>(「伝統文化親子教室事業について」を口頭報告)</p>
委員	<p>昨日、拝見させていただきました。各地域の特色ある伝統芸能を拝見できて大変良かったと思っています。これまで、担い手不足というのが大きな課題だったと思うのですが、地域の方々のご尽力や、学校の協力を得て上手く、継承されてきていると感じているところです。また、5年目の事業ということで、これまでの事業の積み重ねもあると思ったところです。子どもたちにとって、発表の場があるというのは、大きな励みになったと思います。それぞれの地域で子どもたちが頑張っている様子というのは、地域の元気になっているのではないかと思います。来年度以降続けるのであれば、もう少し見る人が多ければいいなと思います。PR等、工夫をしてより多くの市民の方に見ていただければと思います。</p>

	<p>学校の負担もあるのかと思いますので、負担軽減をお願いしたいと思いません。</p>
生涯学習課長 補佐	<p>学校負担についてですが、学校からの希望を聞いて、トラックの借り上げ料、講師謝礼金などを予算化しています。</p>
教育長	<p>コロナ対策として、入場制限をかけたのですか。</p>
生涯学習課長 補佐	<p>事前に入場整理券をお持ちの方、当日であれば、氏名、住所、電話番号を伺って、会場に入らせていただいております。これが嫌で来られなかった人もいたのではないかと思います。</p>
教育長	<p>この事業がなかったら、東中と長木小以外はなくなっていたかもしれません。ふるさとキャリア教育の観点からも大切な事業だと思います。</p>
委員	<p>私も昨日拝見して、感動を頂いたところでした。今回参加してくれた地域の方、学校以外にも、例えば、東館小学校の独鈷囃子、北陽中学校の北陽太鼓なども、皆さんに見ていただきたいですね。伝統の継承は、形にして目にしないと消えていきかねないので、知っている人がいるうちに継承が少しでもできればと思います。代野番楽は人が少なくて困っているようでした。違う地区の子どもが（兄弟）が参加して練習に励んでいると聞いています。伝統芸能が皆さんの目に触れることができれば、地域の方がまた参加するというのが可能になるかもしれません。子どもが堂々と素晴らしい演技を披露することで、周りの方から頑張りたいという意識を持っていただければと思います。子どもたちの素晴らしい演技を指導してくれた、地域の皆さん、学校の先生方に感謝します。</p>
教育長	<p>学校で郷土芸能を支援している場合は大丈夫ですが、学校の支援のない代野番楽は、地区の子どもたちはいないのです。旧大館市内の子ども（兄弟）が参加しているのです。学校が支援できない場合は、子どもハローワーク等で体験会をやるというのも大事なかなと思います。</p>
委員	<p>今の件ですが、子どもたちのモチベーションをどうやって向けていくのが気になります。地域の方から伝統芸能を教わって引き継いでいくことと思いますが、これがなぜ大事かといいますと、これから先、都会や世界へ羽ばたいていくとき、この人がどういう人かというのが求められてくると思います。Particularity 特殊なものであるからこそ、その人の存在価値があるということに、さらになっていくような時代になると思うのです。そこで、自分は何をやってきたのかということに、「自分は代野番楽をやってきた」「獅子舞をやってきた」というのが、誇りとなってくると思うのです。自分のアイデンティティを育てるためにも、必要になってくると思います。会話の中で、自分は大館でこういうことをやってきたと言えることで、コミュニケーション</p>

<p>教育長</p>	<p>ン力が違ってくるのです。それが、どんどん人を呼び込む形になってくると 思います。そのためにも、子どもたちがこういう形で勉強していくのは、と ても良いことだと思います。モチベーションをどうやって大人が子どもたち と共有できるかということも、今後検討していかなければならないことだと 思います。難しいことかもしれませんが、それが子どもたちの幸せにつなが っていくということが理解できる方策も、とっていかなければならないと思 います。教育長もおっしゃっていましたが、郷土芸能の火を絶やさない方向 で、やっていっていただきたいと思います。それが逆に、子どもたちのため になるはずだということを意識していただかないといけないのかなと思いま す。</p> <p>郷土芸能保存会という団体がありますよね。郷土芸能保存会が主体的とな ってどうやって残していくかということを経営的に考えていかなければなら ない段階になっているのだと感じます。</p> <p>ほかに何かありませんか。</p>
<p>委員</p>	<p>今回、学校訪問をさせていただきまして、残念ながら城南小学校を欠席し てしまう形となってしまいましたが、その中で、下川沿中学校の理科のICT を使った授業を見させていただきました。私は、ICTはツールでしか ないと理解しています。その中で教師は、どうやって生徒のことを理解するた めのツールとして使っているのか、子どもたちは、どうやって、学習をも と理解するために使っているのかというのが課題であると思います。ICT を使った場合、データの共有がすごく早いですよね。その瞬間は、やはりタ ブレットの良さなんですね。今回の授業を見て、ICTのメリットを感じさ せていただきました。また、英語の授業でもしっかりとお使いになっていま したが、そこで、単語をどう発音するのか、単語をどう並べるのかというこ とも、ICTを良く活用されていました。理解を助けるためのあくまでも ツールとして、先生方の活用していく意欲を感じさせていただきました。こ のような流れを絶やさぬようにしていただければと思います。</p> <p>また、幼、小の連携ということで、釈迦内小学校と釈迦内保育園の取り組 みを拝見させていただきました。驚きましたね。小学1年生の子がお姉さん に見えるのです。しかも、気遣いもするし、小さい子どもたちの面倒も見よ うとするし、手助けしようとするし、いつもだったら、年上の子に世話され ているその形が、そこに出てくるのでしょうか。教育というのは、流れの中 で一つの形として成り立っていくのだということが、すごくわかりました。 今回の取り組みは、数年かかるかと思いますが、プログラム化するというこ とですので、これが率先して大館の中で取り組みされて、一つの取り組みの 形であれば、それこそ、画期的なことだと思います。この機会を逃すことな く、さらに幼、小の強い連携をとっていければと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>今、山田委員が話されました「かけはしプロジェクト」は、とてもよく幼、 小の連携ができていますね。子どもたちがなんの違和感もなく遊んでいる姿</p>

委員	<p>が自然でした。幼、小それぞれで見る機会はありましたが、今回のように一緒という現場はありませんでしたので、いい訪問をさせていただきました。</p> <p>各市町村でも学校教育、生涯学習などやっていますが、大館の教育は、ゆりかごから墓場までとありますが、就学前から大人の学びまでつながっていると感じました。特に、それぞれの課で進めている事業に、それぞれが理解していることや発信もうまくいっていること等が、つながりを感じさせるのだと思います。かけはしプログラムや、大人の学び大学等、それぞれの学校の先生であっても、もともと広く理解できるし、勉強できる場はあると思いました。いろいろ学校訪問させていただきありがとうございました。</p>
教育長	<p>最後に山本副主幹、まとめをお願いします。</p>
教育研究所副主幹	<p>子どもたちの姿、先生方の頑張っている姿を見ていただきありがとうございます。釈迦内のチームは自分たちのきずなも深まったし、モチベーションも上がったということで大変喜んでいきます。来週には、実際のカリキュラムを編成する会議も開催されることになっております。大館市がモデルとしてやっておりますので、今後は県内の市町村に発信する役割があります。明日、秋田市で会議があり、途中経過の報告として時間をいただいておりますので、大館の先生方の取り組みを発表していきたいと思ひます。</p>
教育総務課長	<p>(「来月の開催日程」について)</p>
教育長	<p>それでは、以上を持ちまして、教育委員会会議を終了いたします。</p>
<p style="text-align: center;">会議終了時刻 午後 4 時 3 5 分</p>	